

発行者／青森県中小企業家同友会 〒030-0931 青森市平新田字森越 12-28-2F
TEL017(752)0171 FAX017(752)0170 URL/http://www.aomori.doyu.jp E-mail/info@aomori.doyu.jp

12月/青森支部例会

創業65年仲間と描く未来



◆報告者
高橋電気工業（株）
代表取締役
高橋 浩之 氏（青森市）

2018/12/6 参加 41 名

◆仲間と描く未来

報告を聞いて、高橋社長が今まで多くの苦い体験をされていることを知りました。

生い立ちをはじめ、現場での火災事故、社内のいざこざといった環境に揉まれながらも、それがあったからこそ、人の痛みも知っている、人にやさしくできるのだ、それらには全部意味があったのだと言っていました。普通の人ではなかなか言えるものではありません。

さらに感心したのが、討論のメンバーが社長を良く知る人ばかりで、彼は口ぐせで「自分は恵まれている」と口にするそうです。社長は当時、ピリピリしてストレスのコントロールができなかったと言うものの、その悩みの中には会社に対しての愛情があり、従業員への感謝、働きやすい環境づくりを追求する姿勢がきちんとあったのだと思います。

今回初めて参加しましたが、素晴らしい経営者のお話が聞けて本当によかったです。

記/（株）大一通商 大坂真功

12月/下北支部例会

「下北ジオパークのおはなし」



◆報告者
（有）小田桐石材
代表取締役
小田桐 隆夫 氏（むつ市）

2018/12/13 参加 9 名

スライドの映像を見て、海岸線の流木や漂着物の多さに驚きました。外国からの漂着物よりも、漁業関連をはじめ私達の出しているゴミの方が多く、8割を占めていることがわかって、環境保全に取り組む意識が重要だとあらためて感じました。

中でも、海岸線の道路からでも見えるくらいゴミが多量にある場所、そのすぐ近くで、ふのりやワカメを採っていることに消費者としても不安を覚えました。世界的にも問題になっていますが、プラスチックごみは魚を媒介して私達の口に入ってしまうということの重大さに、もっと危機感を持たなければと思いました。下北半島は、周りを海に囲まれているのですから、海を守ることが重要だと再認識いたしました。

自然を取り戻すことは、ゴミを出さないこと、再び汚さないことに尽きると思います。ジオパーク活動の一環としての私達の地道な取り組みの継続が、郷土を愛する人材の育成に必ず貢献できると思いました。

記/（株）丹内土木 代表取締役 丹内美知子

11月/青森支部例会

縁を造り、園をつくる

～松竹梅造園25年の歩み～



◆報告者 2018/11/7 参加 46名
 (有) 松竹梅造園 代表取締役 渡辺精一氏
 " 専務取締役 渡辺徹代氏
 " 主任 吉澤忠臣氏

まず、今回の例会を企画していただきありがとうございます。『縁を造り、園を造る』の理念通り、社長の渡辺氏の人柄が、社員含め周りの人に、応援したくなる気持ちにさせるのだと感じました。

また吉澤氏の話で、出張で京都に行って庭園を見せてくれたおかげで見聞が広がったなど、社長だけでなく、社員をどんどん外に行かせることで見聞を広げ、仕事以外のことにも興味が向き仕事の幅が広がるのだなと思いました。

そのためにはまず自分が学び、学んだことを周りに伝えていくことが必要で、これが今の番地銘石に一番不足していることと痛感しました。従来の日本的な考えだと「職人はだまって仕事をすればいい」と言われてきたが、むしろ職人こそ自分のしていることを周りに発信すべきだとも感じました。

グループ討論では感想と男女の考え方の違いについて話しましたが、男性は基本的に一度に一つのことを行い、女性は複数のことを同時進行できることについて話しました。どちらがいいか悪いではなく脳の構造によるもので、私の職場も女性が過半数なので感じますが、女性は横のコミュニケーションに強く、相手への共感力が強いので、女性と話をする時はまず「そうだね」など相槌を打つなど一呼吸置き、いきなり意見や解決策を話さないことなどを討論しました。

そして上司が部下と接する時で一番大切なのは部下がサボっているなど明らかに悪い状況を除いてした仕事に対して「お前こんなこともできんのか」とか「何でできないんだ」と責めるのは最悪の接し方だと気づきました。これは日本の教育にも言えることですが、「30点を80点にする努力」と「80点を100点にする努力」は全く質が違うもので、後者は「100点以外は0点・出来て当たり前」という考えになりやすく言われ続けた人は鬱になる可能性もあります。

時代の変遷と共に価値観も変わっていくのでそれに合わせつつ理念や社風と言った変えてはいけないものを会社に浸透させていきたいと思いました。

記/(株)番地銘石 代表取締役 番地常夫

11月/八戸支部例会

若手に学ぶパラダイムシフト

～あなたの思考を増やして未来へ～



◆報告者
 岩手県中小企業家同友会
 事務局長
 菊田 哲 氏 (盛岡市)

2018/11/13 参加 33名

「若手に学ぶパラダイムシフト」と題して行われた八戸支部 11 月例会。岩手県中小企業家同友会事務局長の菊田哲氏をお迎えして、90 分の講話という形でお話頂きました。

岩手県紫波町の行政と民間の連携施設「オガール」のエネルギーシフトのお話を中心に、欧州視察の様子や、具体的なデータとその裏付けについて、また視察から得た事で新しい取り組みを始めた岩手同友会のメンバーの勇姿など、非常に中身の詰まった 90 分となりました。

始めはパラダイムシフトという耳慣れない言葉に大いに疑問を抱いていましたが、お話をうかがう内に、菊田さんが私たちに伝えようとしている事の根幹が見えてきました。

今回のお話は、単なるエネルギーシフトのお話ではなく、その発想の大転換によって、生き方そのものが変革した事に意味がありました。そして、それをいかに自身、自社、地域に置き換え実現できるか。この街の未来のために何ができるか。構想するきっかけを頂いた例会となりました。

記/アクサ生命保険(株)八戸営業所 営業主任 馬渡 里華

REIKAI



11/22 上十三支部例会

11月/津軽支部例会

津 軽 支 部 見 学 例 会



◆報告者
(株) エーアイサイン
代表取締役
石澤 暁夫氏 (青森市浪岡)

2018/11/21 参加 17 名

11 月の例会は(株)エーアイサイン様の社内見学、同カフェにて夕食、その後石澤社長による講話、次代社長の御子息やスタッフ代表など、立場の違う視点からのお話を伺う事ができ、とても充実した例会となりました。

「人間性を磨き、ものづくりの感性を高める」という経営理念の「感性」について深いお話があり感性とは、気づく心であり感動する心。それは小さなゴミに気づいたり、身近なスタッフの変化に気づけることにつながるもの。そして、気づいて声がけをすることでコミュニケーションが円滑になっていくものであるとお話し下さったことが特に心に残りました。

日々の生活の中で感性を高めることは、とても大事な要素であることに改めて気づく事ができました。仕事に埋もれやすい日常ですが、日々の感動に気づきを深め、仕事に人間関係に心豊かな触れ合いのできる経営者でありたいものと思いました。石澤社長はじめスタッフの皆様、貴重な時間をありがとうございました。

記/Re.create (リ.クレイブ) 代表 長崎 聡子

11月/青森支部ガイダンス

人材育成から見た企業ビジョン



◆報告者
(株) 東信技研
代表取締役
対馬 悟氏 (青森市)

2018/11/19 参加 16 名

今回のガイダンスは人材育成・企業ビジョンというテーマでした。今回の報告者の対馬さんとは10年来の友人でもあり、経営者としての考えなど聞くことができ、非常に楽しいガイダンスでした。

対馬さんの社員へのフォローや、コミュニケーションの大切さなどを聞き、社員への愛情が伝わる報告でした。

また、これからの事業や会社づくり、企業ビジョンが明確にあり、それを社員とも共有しているのが社員のやる気につながっていると感じました。

グループ討論ではそれぞれの会社の人材確保・育成などの意見を聞くことができ、とても参考になりました。

今回のガイダンスで社員への接し方、また今まで以上に社員と向き合い、コミュニケーションをとれるような職場環境を作っていくことも大事だと思いました。

記/相互建設工業(株) 専務取締役 楠美 伊久麻呂



11/21 下北支部例会



12/5 八戸支部望年会

第46回青年経営者全国交流会 in 沖縄に参加して
2018/11/29-30

記／(株)加藤商店 営業課長 加藤人士



【青全交 in 沖縄 懇親会会場にて】

青全交 in 沖縄を終え、振り返りますと、まず、全
力で経営されている熱い経営者の方々と触れ合い、語
り合い、私自身とても学べる刺激をいただきました。

一日目の分科会では、第四分科会の「人を生かす経
営の実践」をテーマに熊本同友会の株式会社マスナガ
代表取締役 森弘国様の報告を聞いたのちにグループ
ディスカッションを行い、自社の悩み、実践している
こと等を話し合いました。今日の報告を聞いて自社で
明日から取り組むことをグループ内で共有し、口だけ
にならないよう、お互い SNS で進捗状況を公開しま
しょうということになりました。これこそ同友会の理
念の一つである連帯の精神なんだと実感しました。

二日目の記念講演では、玉城絵美さんの講演を聞
き、自分の夢実現の為、本気で研究されて、しっかりと
実現に近付いていると感じました。二日間とても
いい刺激をいただけた青全交でした。

記／(有)松竹梅造園 代表取締役 渡辺精一

肝(チム) 高く 万国(バンコク) 津梁(シンリョウ) を
担う 結人(ユインチュ) たれ!

(志を高くもって、日本を世界を担う人になろう) の
想いを心にいだきながらの交流でした。まず、分科会
ですが、題名を読んで私の数年前からの考えと同じ
だったので、第10分科会の「立ち止まるな!!現状維
持は退化の始まり」、変革と挑戦の企業づくり、組織
づくりの報告への参加でした。

建設業界も厳しい競争の時代に入り、入札の工事
減、社員の高齢化と若手社員離れの時代に地元鹿児島
に戻り代表取締役に就任するも、建設不況の真ただ
中でさまざまな困難にぶつかるのです。不渡り、追徴
課税、中間処理場建設反対、反社会勢力からの嫌がら
せ、入札参加指名停止、廃棄物事業も停止、怪文書問
題などさまざまな問題を乗り越えるのです。あきらめ
ない、逃げない、原因はすべて自分にある。つねに少
しずつ前に、立ち止まらず。お客様、社員の事を思い
覚悟をもって前進する。こんな大変な時に、同友会と
知り合い、学びをもらい、救ってくれたのだそうです。

以上から、変革と挑戦をしっかりと計画を立てて実践
する。「一年の計は作物を植え、十年の計は樹木を植
え、百年の計は人心を育てよ」の覚悟をもってやって
いこうと専務と心をひとつにした沖縄でした。

記／(有)松竹梅造園 専務取締役 渡辺徹代

平成30年11月30日、カリスマ スーパーガイド
崎原真弓さんのバスツアー・南部コースに参加させて
いただきました。

「ひめゆりの塔」「平和祈念館」「平和の礎」の3ヶ
所をめぐり、ひめゆり学徒隊の方々のお話やビデオで
当時の様子を知り、予想も出来なかった光景が、頭の中
に浮かび上がりました。今の時代に生きている私には、
とてもショックな事ばかりでした。

戦争の出来後を風化させてはいけないと、崎原さん
の言葉1つ1つが重く、真剣さが伝わってきました。
二度と戦争を起こさない平和な世界のために、本当に
魂を込めた語りには、涙なくして、聞くことが出来ま
せんでした。動くバスの中で、裸足になり、空手の
ような技も披露してくださいました。今でも信じられ
ないくらいです。あの小さな体のどこから、こんな
パワーが出てくるのだろうと!!

一人芝居のおばあちゃんから始まり、最後の武術で占
める、あっという間の一時でした。

REIKAI



12/10 上十三支部例会

◆共同求人活動運営委員会

TOPICS

青森工業高校『企業 PR 説明会』開催！！



共同求人活動運営委員会では、青森工業高校の1年生を対象とした企業PR説明会を青森県と共催で開催しました。若者の地元定着と自社の維持発展を目的とした説明会は、これからも県内各地の学校で開催される予定です。

2018/12/11 参加企業 11 社

TOPICS

同友会の HP がリニューアルしました!!!

青森同友会のホームページが新しくなりました。より見やすく、使いやすくなっています。

URL は今まで通り www.aomori.doyu.jp

です。「青森同友会」で検索もできます。

ぜひ、覗いてみてください！！



●企業情報誌「WING（ウィング）」発行について

●10 月の入退会報告

2) 審議事項

●青森同友会設立 20 周年記念事業の総括

●2019 新春例会について

●各支部会員増強について

●各支部、委員会からの報告

会員数 382 名／入会 0 退会 1 社

12 月理事会報告

於：事務局 2018.12.4(火)

1) 報告事項

●青森同友会の各種事業と全国行事について

①第 49 回中小企業問題全国研究集会 in 長崎

●2019 年度の各支部活動方針検討について

●11 月の入退会報告

2) 審議事項

●2019 新春例会について

●活動支援システム『e.doyu』の活用について

●諸団体からの依頼について

●各支部、委員会からの報告

会員数 381 名／入会 1 退会 2 社

1 月理事会報告

於：事務局 2019.1.8(火)

1) 報告事項

●青森同友会の各種事業と全国行事について

①第 49 回中小企業問題全国研究集会 in 長崎

②2019 年度中同協役員研修会

③2019 年度北海道・東北ブロック支部長地区会長交流会

●事務局員の産前産後休暇について

●12 月の入退会報告

2) 審議事項

●2019 新春例会について

●中同協総会（2019 年 7 月）の代議員参加について

●青森同友会の組織運営・体制等について

●青森同友会第 22 回定時総会について

●各支部、委員会からの報告

会員数 382 名／入会 2 退会 1 社

11 月理事会報告

於：事務局 2018.11.6(火)

1) 報告事項

●青森同友会の各種事業と全国行事について

①第 9 回「地域活性化を担う企業展」in 八甲田丸

②青森同友会創立 20 周年記念行事

③第 16 期経営指針を創る会フォローアップ

④第 12 期幹部育成塾「一泊研修会」